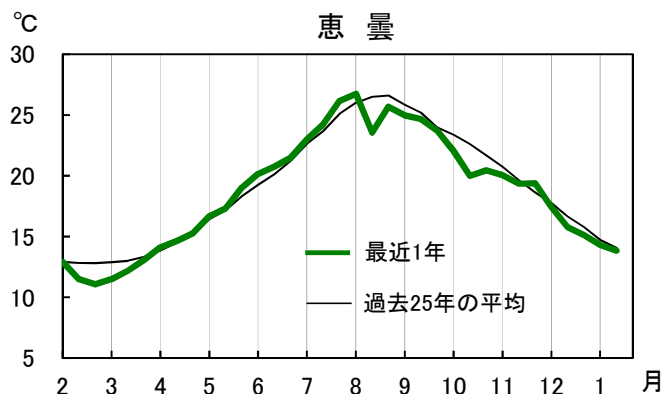
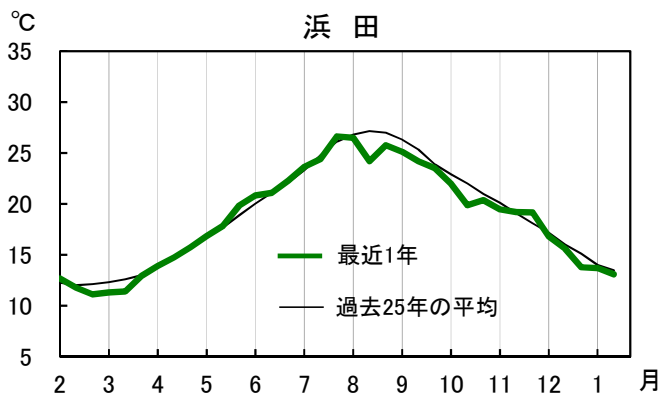




《12～1月の海況》

12月	月平均	平年差	評価
浜田	15.3℃	-0.8℃	やや低め
恵曇	16.3℃	-0.5℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では12月は上・中旬は「平年並み」で、下旬に「かなり低め」に転じましたが、1月に入り、上旬は「平年並み」、中旬は「やや低め」で経過しています。一方、恵曇地区では12月は上旬が「平年並み」で、中・下旬は「やや低め」でしたが、1月に入り、上・中旬とも「平年並み」で経過しています。



《12月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を上回りました。マアジは平年の2割だったものの、主体であるサバ類は平年の3倍、また、例年漁獲されないスルメイカも10トン程度の漁獲がありました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではブリ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を下回りました。主体であるブリは、平年の2～3倍でしたが、サバ類、マアジは両区とも平年を大きく下回り、特に西郷では平年の1割以下となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の87%）を主体にスルメイカ（同13%）が混じる漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17kgで平年を下回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体のほぼ100%）主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は196kgで平年を上回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではキダイ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は13.8トンで平年並みの水揚げとなりました。キダイは小型サイズを中心に好調に推移し、平年を上回りました。また、ヤリイカが久しぶりにまとまって水揚げされ、平年の3.4倍の水揚げとなりました。一方、ムシガレイ、ソウハチは、平年の8～9割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

和江、久手両地区ともにマダラ、ソウハチ主体の漁況でした。寒波の影響による時化のため、出漁日数は大幅に減少し、総漁獲量は平年の5割に留まりましたが、1隻1航海当たりの漁獲量は久手地区では平年並み、和江地区は平年を下回る水揚げとなりました。両地区ともマダラが好調に推移し、平年の1.3～1.4倍の水揚げとなりました。一方、ソウハチは久手地区では平年並みでしたが、和江地区では平年の6割の水揚げに留まりました。

【定置網漁業】

石見地区ではサワラ類主体の漁況で、1統当りではサワラ類が1.1倍、マアジが3割、サバ類、ブリ等その他の魚種はほぼ平年並みか平年を下回ったため、全統の総漁獲量は平年を下回りました。出雲地区ではカタクチイワシ、サワラ類主体の漁況で、1統当りではカタクチイワシ、サワラ類がそれぞれ平年の14倍、2倍だったものの、ブリ、マアジがそれぞれ平年の3割、サバ類、ケンサキイカ等その他の魚種も多くが平年を下回ったため、全統の総漁獲量は平年並みとなりました。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1統当りではスルメイカが平年の4倍で、全漁獲物構成のほぼ10割を占め、全統の総漁獲量は平年を上回りました。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は39kgで平年並みでした。石見地区ではサワラ類、その他のハタ類（クエ主体）が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は29kgで平年並みでした。隠岐地区ではスルメイカ、マダイが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は39kgで平年を上回りました。

【平成 26 年 12 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類	278トン	73%	99%	25.3トン	106%	152%	◎
	西郷	ブリ	1,633トン	23%	42%	43.0トン	28%	49%	▲
	浦郷	サバ類、ブリ	848トン	24%	50%	31.4トン	31%	56%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	1トン	3%	3%	17kg	16%	17%	▲
	西郷	スルメイカ	21トン	3747%	1593%	196kg	378%	315%	◎
沖合 底びき網	浜田	キダイ	345トン	96%	94%	13.8トン	96%	103%	○
小型 底びき網	久手	マダラ、ソウハチ	62トン	40%	47%	748kg	83%	103%	○
	和江	ソウハチ、マダラ	123トン	48%	49%	599kg	72%	68%	▲
定置網 (大型)	浜田	サワラ類、マアジ、マイワシ	4トン	-	108%	896kg	-	225%	◎
	美保関	カタクチイワシ、サワラ類	136トン	79%	123%	1.6トン	81%	123%	◎
	浦郷	スルメイカ	92トン	1,197%	413%	3.6トン	1,059%	385%	◎
釣り・縄	仁摩	その他のハタ類(クエ主体)、サワラ類	3トン	19%	17%	25kg	42%	44%	▲
	大社	ブリ	13トン	63%	61%	49kg	93%	93%	○
	西郷	スルメイカ	4トン	117%	61%	51kg	162%	133%	◎

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを-、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を-、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を-とした

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5月号から再開する予定です）。